

本日で1学期が終了します。終業式では、生徒意見発表を行いました。生徒の発表内容を紹介します。

## 生徒意見発表

「二学期への第一歩」 1年3組 男子



一年生の皆さんはもう中学生生活に慣れましたか。入学当初を振り返ると、すごく不安が多かったのを思い返します。新しい友達はできるのか、クラスになじめるかなど初めの一週間は毎朝緊張していました。しかし今は、違う小学校の子とも仲良くなり、すごく楽しい生活を送ることができています。一学期を振り返り、心に残っていることは体育祭です。その中でも一番圧倒させられたのは、三年生男子によるお邪魔玉入れです。ピストルの合図と同時にカゴが玉いっぱいになり、その後も次々に玉が入っていき、見事一位を取った姿が本当にかっこよかったです。他にも先輩たちのかっこいい姿や応援、励ましのおかげで僕たちも全力で力を発揮することができました。また、クラスでは「一生懸命」を合言葉に練習を重ね、運動が得意不得意あるなかで優勝することができました。今後の行事や学校生活でもより一層団結力を深めていきたいです。

そして、初めての定期テスト。みなさん、結果はどうだったでしょうか。思っていたよりも点数が高くて嬉しかった人もいれば、思っていたより点数が低くて落ち込んでいる人もいるかもしれません。しかし過ぎてしまったこと、「過去」を変えることはできません。次のテスト、「未来」を良い方向に変えていくために、今からの行動が大切になってくると思います。小さな努力もコツコツ継続することで成果が生まれると信じ、まずは始めてみましょう。

みなさんは今のクラス楽しいですか？僕はもちろん楽しいです。しかし中学生として、三年後には社会に出る集団として、気になることがいくつかあります。一つ目は、三分前着席ができていないことです。時計を見て行動する習慣がついていないために、チャイムが鳴ってから動いている人が多いです。時間を守る人は約束を守る人でもあると思うので、時間や約束を守るようにしていきたいです。二つ目は、自分の係や役割を忘れてしまうことです。忘れてしまうことによって周りの人に迷惑をかけてしまうということを頭に入れて、「人のために」行動できるようにしていきたいです。もちろん、毎日元気いっぱいだとか、楽しむときは全力で楽しめるところなど良いところも沢山あります。良いところは、このまま続けていき、今できていないことは、どうやったらできるようになるのか考え、工夫し自分たちの良いところとして、伸ばしていきたいです。

「努力次第で変えられる」 2年1組 男子

今年僕たち二年生が行ったキャンプは、泊まらずに日帰りで行く0泊のキャンプとなりました。キャンプに何か関わっていたいという思いから総務実行委員をやろうと思いました。総務実行委員では自分たちで案を出し自分たちで決定をするというとても責任のある仕事でした。変更につぐ変更がありましたが、今までなかなか思い通りにいかなかったことが多かったので、この悔しい気持ちをバネに、自分たちによる自分たちのためのキャンプを作り上げようと思いました。

今年のキャンプのスローガンである“Link”のように二年生が心でつながり合えるようになることを目標に頑張ってきました。特に当日の持ち物やルールについて、何度も練り直したことをよく覚えています。

学校での前夜祭、郡上での自然体験。みんなでフォークダンスを踊り、みんなでバスに乗り出掛ける。我慢が多かった分、うきうきする気持ちがついつい顔に出てしまっていました。みんなで撮った学級写真はたぶんそんな顔になっていると思います。自然園に着いた時にバンガローを見て感じた「泊まりたいなあ。制限さえなければなあ。」という暗めの気持ちは帰るときにはほぼなくなっていました。

僕たちはコロナで色々なことができずにいました。今回もそうだったけれど、僕はコロナに成長させられた気もします。自分に与えられた状況を変えることができないのならば、その中で最善を尽くすしかないと考えるようになりました。制限のある中でも自分たちのアイデアや工夫次第でどれだけでも楽しくできるということもわかりました。これからも同じようなことが何回も訪れると思うけれど、その時には自分で良い方向に引っ張っていけるようにしたいです。

### 「部活動を通して」 3年6組 男子

僕が三年間、部活を続けてきて学んだことについて話します。たくさん学んだことはありますが、その中から、二つ話します。

一つ目は、努力することの大切さです。僕がバスケ部に入部したての時、周りの上手な子達はみんな小学生の時にクラブチームに入っていて、中学からバスケを始めた自分とはレベルが違いました。しかし部活がない日や放課後などにたくさん練習をし、今では上手だった子達に負けないくらいに実力がつきました。自分はバスケがとても好きなので、たくさん練習をしました。好きだからこそたくさん練習ができたと思うので、頑張りたいことをぜひ好きになって、たくさん努力してほしいです。

二つ目は、仲間を大切にすることです。高めあえる仲間がいるというのはとても大事で、いつ追い抜かれるかわからないという危機感をもち、より練習に取り組めるようになります。他にも、どれだけ辛い練習があっても仲間と声を掛け合って乗り越えられてきたし、試合でいいプレーが出た時はみんなで喜び合える仲間がいたというのは僕にとってはとても大きい事でした。自分がキャプテンとしてうまくチームをまとめられない時に、一番に助けてくれたのが仲間達だったので部活を引退した後でもバスケを通して出会った仲間を大事にしていきたいです。

最後に、これから部活が本格的に始まる一、二年生は努力をすること忘れないでほしいです。部活をやっていてうまくいかないこともたくさんあると思います。しかしそこで諦めないでほしいのが僕の願いです。なぜなら、最後には必ず「あの時頑張ってよかった」と思える日が必ず来ます。部活を三年間やり切ったことは絶対に人生のプラスにも、思い出にもなると思います。だから残りの部活を悔いなくやってください。僕たち三年生は、そろそろ受験勉強へと切り替えなければいけません。自分自身、勉強は大の苦手ですが、悔いを残さず夢に向かって頑張りたいと思います。



## 相談窓口について

大府市や愛知県には、生徒の悩みに関する相談窓口があります。紹介いたします。終業式の日には生徒向けに配布した夏休みのしおりにも掲載してあります。

- |                               |              |
|-------------------------------|--------------|
| ・子どもSOSほっとライン24（県教育・スポーツ振興財団） | 0120-0-78310 |
| ・こころの電話（県教育委員会）               | 052-261-9671 |
| ・被害少年相談電話（県警察本部）              | 0120-786-770 |
| ・不登校・ひきこもり相談（市社会福祉協議会）        | 0562-48-1805 |
| ・いじめ不登校相談窓口（県教育委員会）           | 052-961-0900 |
| ・体調や健康の相談（市保健センター）            | 0562-47-8000 |